

# 市議会だより



## ゆりあげ港朝市 初売り祈願祭

1月6日(日)に、「新春朝市初売り祈願祭」がイオンモール名取西側駐車場で開催されました。祈願祭の後には勇壮な「関上太鼓」が披露され、新しい門出に花を添えました。

ゆりあげ港朝市は関上の地で今年5月のプレオープンを経て、8月には本格的に再開する予定です。

12月議会  
ヘッドライン

市政のここが聞きたい

一般質問 P 2

なとりん号運行計画・国民健康保険財政状況

議員協議会 P 9

三陸沖を震源とする地震に係る被害と対応について

一般市政報告 P10

2つの請願を採択

諸報告 P10

関係団体等懇談会を開催

委員会活動報告 P12

# 一般質問

## 市政のことが聞きたい

「一般質問」は市の執行部に対し、政策提言や事務の執行状況についてたずねるものです。本定例会における一般質問は、10人の議員から22事項、62項目の質問があり、12月10日から12日までの3日間行われました。

各議員の一般質問のうち、1項目を掲載しました。なお、掲載項目以外については、その他の一般質問として、項目のみ掲載しています。

長南良彦 議員 ..... P 2

・市税徴収向上に向けた抜本的改革を図るべき

大友康信 議員 ..... P 3

・いじめ問題対応策を強化すべき

大沼宗彦 議員 ..... P 3

・保育所待機児童の解消を

郷内良治 議員 ..... P 4

・平成23年度からストップしている工事の再開は

小野寺美穂 議員 ..... P 4

・在宅被災者や往来する市民に対しての今後の備えは

菊地 忍 議員 ..... P 5

・いじめ側が100%悪い、という指導はしているのか

佐藤正博 議員 ..... P 5

・指定避難所の非常電源について

荒川洋平 議員 ..... P 6

・事業区域外の地区に独自の支援策を講じるべき

星居敬子 議員 ..... P 6

・介護家族のニーズや問題点を捉えているか

山田司郎 議員 ..... P 7

・利用実態やニーズに合ったダイヤ再編を



▲市税の徴収業務に取り組む税務課の様子

**議員** 本市では、閉上地区被災市街地復興土地画整理事業を初め、これまでにない大規模事業が予定されている。また、我々にはいつ発生するか予測できない天災に備え、防災力を高め、より安全安心な住みよいまちづく



長南良彦 議員

**市長** 今年度実施済み及び計画している取り組みは、①市税等滞納整理対策本部による全庁的な現年度未納分の滞納整理の実施②市外滞納整理の実施③休日納税相談窓口の開設④仙台南県税事務所との共同催告書の発送⑤納

答 組織機構の見直し・あり方を検討中

市 税徴収向上に向けた抜本的改革を図るべき

りを実現し、若い世代に託していく責任がある。そのためには安定した財源確保が何よりも重要であり、市税徴収向上に向けた組織改革、体制強化を図るべき。

**議員** 滞納整理対策本部の活動は、年末・年度末に集中した短期的なもののため、年間を通して日常的に戸別訪問、面談指導に当たる部署の新設を図るべき。

**副市長** 抜本的な組織機構の全体的見直し、あり方を検討している最中である。現在、税務課全体で徴収に当たる体制をとっており、対策本部の取り組みとしても書類を届けるだけではなく、面談の上実情を説明するよう指導している。

〈その他の一般質問〉

▽市民への行政対応

**議員** いじめ問題解決には、早期発見や早期対応が大切である。人間関係のあるところには、いつでも発生するもの、常にどこかにあるものとの考え方に立ち、積極的に見つけ出すなど早期把握のための対策を強化すべき。

**教育長** いじめはどの



大友康信 議員

## いじめ問題対応策を強化すべき

**答** きめ細かい対応で努力したい

**議員** 把握した事案への対応と防止策、抑制策等の取り組みについて伺う。

**教育長** 学校においていじめを認知したとき

子にも、どの学校にも起こり得る問題であり、早期発見や早期対応が重要であると考えている。本市では全小中学校で年二回アンケート調査を行ってきたが、平成二十四年十月からは月一回程度に回数をやや増やしており、よりきめ細かく指導している。

**議員** 把握した事案への対応と防止策、抑制策等の取り組みについて伺う。

**教育長** 学校においていじめを認知したとき

と協力をもろうようになっている。

**議員** 教育現場の多忙化や負担増により十分な対応が期待できない。補助的職員の拡充や支援体制、事務的業務の簡素化や見直しが必要と考えるがどうか。

**教育長** 教員補助者と訪問指導員を配置しているほか、特別教育支援員を配置し、学校の抱える課題に対応しやすいよう負担軽減を図っている。教職員が児童生徒一人一人と向き合える環境づくりに努力していく。

滋賀県で策定されたストップいじめアクションプラン

# ストップいじめ アクションプラン

私たちは いじめを  
しない させない 見逃さない

滋賀県いじめ対策チーム委員会議  
(平成25年1月策定)



▲舗装されていない児童センター駐車場

**議員** 保育所の入所は保護者の自己責任ではなく、自治体の責任で行うものである。保育所の待機児童の解消を早急に図るべき。

**市長** 民設民営として四月に開園する(仮称)名取あけぼの保育園は定員が三十人増加し、また、市で初の認定こ



大沼宗彦 議員

## 保育所待機児童の解消を

**答** 百名の定員増で解消に努力する

ども園となる、なとり保育園は六十人の定員となっている。名取みたぞの保育園では九十人から百人への定員枠の拡大を進めており、合計百人の定員増となることから、待機児童の解消に期待している。

**議員** 保育料は第二子以降を無料にし、保護者負担を軽減すべき。

**市長** 現在の軽減策は、国の基準に準じて、第二子は徴収金基準額の半額、第三子以降は無料としている。現時点でこれ以上の軽減策の

予定はない。

**議員** 児童数が急増している愛島小学校区と下増田小学校区に児童センターを早急に建設すべき。

**市長** 児童数の増加傾向から両地区に整備が必要と考えている。いつの時期にどの児童センターを整備するか、場所、財源確保の問題を検討している。

**議員** 幼稚園、保育所、小中学校施設周辺の安全点検に基づく具体的対策を進めるべき。

**市長** 緊急性が高く対応可能なものから順次取り組んでいる。

**議員** 館腰児童センター駐車場を舗装すべき。

**市長** 機会を捉えて改善を図りたい。

〈その他の一般質問〉  
▽誰もが安心して利用できる介護制度

**議員** 東日本大震災後から市内各所で土木工事等をストップさせ、震災で被災した地域を優先に全力で復旧・復興に取り組んできました。市民はその取り組みについて理解を示し、平成二十三年度と平成二十四年度の二カ年間に活に不自由を感じなが



郷内良治 議員

## 平成23年度からストップしている工事の再開は

答 平成25年度から取り組む

**市長** 東日本大震災の影響により、市単独事業による土木工事については、二カ年間中止したところである。年々厳しくなる財政状況であるが、市単独事業による土木工事については、平成二十五年度から今まで取り組んできた継続路線の早

らも耐えてきたが、いつから工事再開になるのか不安を覚えているのが現状である。それらのことを考慮して平成二十五年度から工事を再開すべき。



▲復旧工事が行われた市道松崎学市線

期完了を優先に取り組んでいきたい。  
**議員** 住民に対して期限を示し、説明すべきと考えるがどうか。  
**市長** 震災による事業休止についての住民への周知は、該当する行政区長に事情を説明し、理解をお願いしてきた経緯がある。事業再開においても同様の方法で周知していきたい。

〈その他の一般質問〉  
▽県道愛島・名取線延伸



▲復興を待つ閑上小学校

**議員** 震災後、被災地内の自宅において復興を待つ市民や、往来する市民に対して次の災害に対する備えはどのように考えているのか。  
**市長** 津波から命を守るために、沿岸部で強い揺れや長い揺れを感じた場合は、大津波警



小野寺美穂 議員

**議員** 津波避難ビルの重要性も指摘される中、閑上公民館を解体したのはなぜか。  
**議員** 津波避難ビルの重要性も指摘される中、閑上公民館を解体したのはなぜか。

## 在宅被災者や往来する市民に対しての今後の備えは

答 警報や避難指示を待たずに避難を

**市長** 津波により壊滅的な被害を受けた。公民館周辺地域は、土地区画整理事業による新たなまちの区割りが見込まれることや、地盤のかさ上げが計画されていることにより、今後修繕しても活用することができないことから解体撤去した。  
**議員** かさ上げというなら、周辺にはまだ解体撤去されず残っている建物があるのはなぜか。震災時、閑上公民館と閑上中学校の間で多くの犠牲者が出た。緊急に避難できる建物として必要性があったのではないか。  
**副市長** 使用不可能な公共物は順次撤去する方針である。

〈その他の一般質問〉  
▽市民にとっての安心・安全なまちづくり

**議員** 今年度のいじめの認知件数は昨年度に比べ、全国では二倍、宮城県では五倍となっており、いじめ問題は深刻な事態となっている。大事なことは実態を把握することであり、県教育委員会からは月一回程度のアンケート調査の実施が示さ



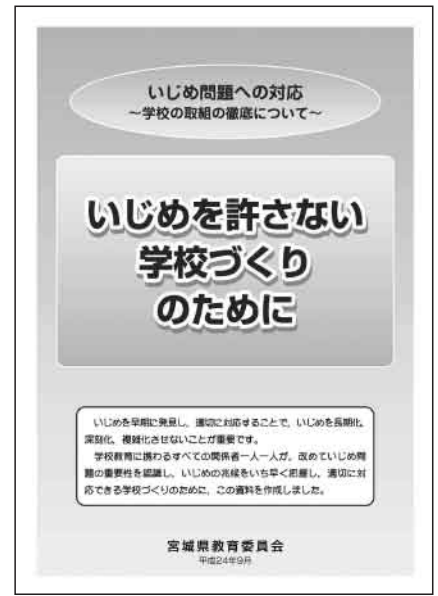
菊地 忍 議員

**い** じめる側が100倍悪い、という指導はしているのか

**答** 学校へは指導している

教育委員会では個々の事例について経過を把握し、解消が難しい事例については、解決に向けて助言を行うようにしている。  
**議員** いじめる側が百倍以上悪い、という指導はしているのか。  
**教育長** 学校へは「いじめは絶対に許されない」「いじめを見逃さない」「訴えがあったら

れ、本市でも行われているが、その結果をどのように捉え対応しているのか何う。  
**教育長** 四月から十月まで小中学校合わせて継続指導中が七件、解消が十八件となっている。



◀ 県教育委員会が作成したいじめ問題への対応資料

＜その他の一般質問＞  
▽地球温暖化防止の取り組み  
▽小型家電リサイクル法

場合は被害児童を最優先に守る」ことを指導している。  
**議員** いじめが続く場合は加害生徒を出席停止とする考えはあるのか。  
**教育長** 一つの手段ではあるが、検討が必要である。  
**議員** 心のケアを行うスクールカウンセラーを増員する考えは。  
**教育長** 県からの派遣となっており、増員について要望している。



▲ 市役所正面玄関上に設置されている太陽光パネル

**議員** 東日本大震災後、指定避難所の非常電源設置状況は。  
**市長** 指定避難所三十七カ所のうち、東日本大震災の影響により、関上公民館と北釜集会所は解体され、増田公民館は解体予定である。宮城県農業高等学



佐藤 正博 議員

**指** 定避難所の非常電源について

**答** 全ての避難所に発電機を整備予定

また、日本赤十字社より防災倉庫と発電機、投光機などの寄附をいただけるという話があり、平成二十五年

校は解体中で、斎場については、現在使用できない状況である。その他の避難所については、全てに発電機と投光機を整備する予定である。現在、自家発電設備があるのは市民体育館の二カ所、発電機があるのは地区公民館と仙台高専の十カ所である。

＜その他の一般質問＞  
▽関上港の復興

度において指定避難所に配置したい。これにより全ての避難所に非常電源が確保される見込みとなっている。  
**議員** 未設置場所があれば、今後蓄電池付防災型太陽光発電システムを採用すべき。  
**市長** 指定避難所への太陽光発電導入については、グリーンニューディール基金を財源とした再生可能エネルギー等導入補助金を活用し、平成二十五年より三カ年で指定避難所等の防災拠点に、太陽光発電及び蓄電池の導入をすべく計画を進めている。平成二十五年については、指定避難所である公民館等六カ所に導入すべく県と協議を進めている。

# 事業区域外の地区に独自の支援策を講じるべき

答 早急に検討したい



荒川洋平 議員

**議員** かさ上げ費用上限百万円の補助のみとなっている小塚原・牛野地区は、利子補給がある防災集団移転事業地域や、三層のかさ上げが予定されている区画整理事業区域から見ると、格差が感じられる。他自治体では続々と独自支援策が創設さ



▲事業区域外の小塚原南地区

れていることから、本市でも地元の要望に沿った支援策を検討すべき。

**市長** 沿岸他市町においては、災害危険区域外で住宅を新築・購入・修繕する際に利子相当額を助成するところもある。また、国においては、被災自治体

向けの震災復興特別交付金を増額する方針も示されていることから、今後国の動向について注視することにも、今ある財源の中でどのような支援ができるのかなど、本市の独自支援策について早急に検討していきたい。

**議員** それぞれの支援

策で生じる自治体間の格差をなくすためにも、被災自治体でまともに国に要望していくべき。

**市長** 被災自治体への大規模な対応が、その後の災害に対する新しい支援策の制度づくりの引き金になると考える。連携が取れるところがあれば連携を取りながら、新たな支援策を引き出すことができればと思っている。

〈その他の一般質問〉  
▽震災復興部の体制  
▽名取市のSNS(ソーシャル・ネット・ワーキング・サービス)活用

# 介護家族のニーズや問題点を捉えているか

答 把握していないが個別対応している



星居敬子 議員

**議員** 介護者を抱える家庭は、核家族化により夫婦・親子のみの世帯が増加している。家族の人数が少ないと経済面の負担やストレス等で追い詰められ、悲しい事件も起きている。これらの家庭状況を把握しどのような問題点があると捉えてい

るか。また、その解決をどう考えているのか。

**市長** 介護保険制度は利用者や事業者の契約で行われており、市として関与しておらず、家族構成や介護者が誰なのかは把握していない。個々の相談は市の窓口や地域包括支援センターで行い、虐待等があるときは市で各関係機関と連携して課題解決のケア会議を行い、個別に支援している。

**議員** 男性の介護者も増加し、仕事となれな

い家事や介護等で戸惑い、他に相談できず社会から孤立するケースもある。

**市長** ニーズは把握していないが、家族の状況に応じて対応している。

**議員** 介護保険制度の利用者の利便性を考え、改善の一環として、福祉用具購入費及び住宅改修費の補助について、一旦全額を支払わなくても一割の自己負担のみ払う受領委任払いも選択できるようにすべき。

**市長** 全額払うことが困難な方のための貸付制度があるので周知を図る。

〈その他の一般質問〉  
▽相談業務  
▽子育て環境の充実



▲母親の介護をする息子のイメージ

**議員** 四月からなとりん号の運行再編となるが、地域公共交通会議で示された案では、名取が丘からの通勤・通学の便が減便になるおそれがある。本稼働に向けて見直すべき。

**市長** 今後、運行业者を決定し最終的な調整を行うことになるが、



山田 司郎 議員

## 利用実態やニーズに合ったダイヤ再編を

答意を用いて対応したい

**議員** 愛島台から名取一中に通学する生徒の通学環境は改善されるのか。学校や保護者等の声を聞き、運行計画に反映させるべき。

**市長** 夕方の便が五便から七便に増便となっている。一定の改善が図られると考えている。

また、名取が丘を経由する便を別路線として運行する計画であ

名取が丘地区は大幅な増便であり、通勤・通学の利用者にも十分対応できると考えている。

**議員** 全体の便数ではなく、時間帯別に検証すべき。通勤・通学の足は確保されるのか。

**課長** 意を用いて対応していきたい。



▲ニーズに合ったダイヤ再編が期待されるなとりん号

り、乗客がある程度分散し、車内環境も改善されると考えている。

**教育長** 通学環境は、随時改善が図られていると認識している。

今後とも学校や保護者等の意見を収集し、さらなる改善に向けて市長部局に情報提供をしていきたい。

**議員** 一斉下校に配慮した対応は。

**課長** できる限り意を用いて対応したい。

**教育長** 教育委員会としても子供たちの利便性を考え、市長部局と調整したい。

〈その他の一般質問〉  
▼里山エリアの環境整備

# ご来場ありがとうございました! 議会懇談会を開催しました



平成二十四年度の議会懇談会を十一月五日から八日までの四日間、公民館や仮設住宅集会所などを会場に市内十六カ所で開催しました。

議会懇談会は、市議会の活動状況を地域に出向いて直接市民の皆様へ報告・説明し、議会に対する意見や市政に対する提言などをお聞きすることにより、市議会の一層の充実を図るとともに、市民の皆様との意見交換を積極的に進めることを目的に平成二十一年度から開催しているものです。

今年度は、議員二十一人が七人ずつ三班に分かれ、震災復興の進捗状況と地域



市議会ホームページ  
<http://www.city.natori.miyagi.jp/soshiki/gikaijimu>

報告書は各公民館と仮設住宅集会所に置いてあります。また、市議会ホームページでもごらんいただけます。

の課題についてをテーマに各会場を回りました。

四年目を迎えた今回の議会懇談会の参加人数は、四日間で延べ二百六十七人の方にお越しいただき、二百三十四項目のご意見やご要望を伺うことができました。ありがとうございました。

伺ったご意見等については、調査・検討を行い、市当局に対して必要な提言等を行いました。

本会議審議

専決処分

平成二十四年度  
一般会計補正予算

衆議院議員総選挙  
について

**議員** 仮設住宅で期日前投票を行うなど、投票率向上のための取り組みは。

**事務局長** 突然の解散であり、新しい取り組みはできなかった。本市の仮設住宅は一般住宅地に隣接しており、公平性を期すため、対応しなかった。

条例

指定地域密着型サービス  
の事業の人員、  
設備及び運営に関する  
基準に関する条例

地域包括支援センター  
との連携について

**議員** 事業の運営に当たって、地域包括支援センターとの連携の考え方は。

**課長** 事業者と地域包括支援センターを含む関係機関、及び利用者のご家族等とは、今後も連携を図りながら事業運営がなされるものと捉えている。

説明

地域主権改革一括法の  
公布に伴う条例制定  
及び一部改正について

地域主権改革一括法などの公布により、これまで国が行っていた業務に関するさまざまな権限について、地方自治体への移譲が進められています。

十二月定例会では、権限の移譲に伴い新たな条例を制定する議案五力件(議案第八十四号から議案第八十八号まで)、及び既存条例の一部を改正する議案五力件(議案第九十二号から議案第九十七号まで)の審議を行いました。  
議案の件名及び審議結果は、十一ページの議案審議結果をご覧ください。

都市公園条例の  
一部を改正する条例

基準の対象となる  
公園について

**議員** 都市公園の配置及び基準の内容は。

**課長** 新たな公園設置の際の面積基準である。  
**議員** 既存の小さな公園への適用は。

**課長** 新たに整備する公園はこの基準だが、既存の市街地の公園の拡充は難しい。

保育所条例の  
一部を改正する条例

あけぼの保育所の  
民設民営化について

**議員** 現在の入所者の取り扱い。  
**課長** 希望者についてはそのまま移行したいと考えている。



▲建設が進む(仮称)名取あけぼの保育園

市営住宅管理条例の  
一部を改正する条例

これまでの取り組み  
との整合性について

**議員** 条文中、入居者等にとって便利で快適なものとなるように整備するとあるが、従前との整合性は。

**課長** 新たな整備のための基準であり、既存住宅は維持修繕に努めていきたい。  
**議員** 既存住宅の考慮も条例上必要だが、その考えは。  
**部長** なるべく対応したい。



▲空き家政策が進められている市営住宅

児童厚生施設条例の  
一部を改正する条例

那智が丘児童センター  
の指定管理について

**議員** 時間延長など、市民から要望があった際、市と

してどのような働きかけをするのか。

**課長** 地域の実情、実態を捉え、助言等を行う。  
**議員** 指定管理者との協議の場は。

**課長** 月一回の館長会議を  
考えている。



▲指定管理者が運営予定の那智が丘児童センター

職員定数条例の  
一部を改正する条例

職員定数改正の  
理由は

**議員** 定数改正は教育委員会事務局等から市長部局への震災対応のための人員調整か。  
**課長** 市長部局は大震災に係る用地取得等の事務が増大する見込みのため定数増を図るもの。教育委員会事務局等は給食共同調理場の定数減等による減員である。



補正予算

一般会計

市役所駐車場整備工事

議員 駐車場整備工事の内容は。

課長 敷地西側のテニス・バレーコートを、来客者用駐車場として六十五台分整備する。

議員 工事期間中の他のスペースへの影響は。

課長 現在使用している駐車場には影響がないよう工事を進める。



▲来庁者用として65台分が整備されるテニス・バレーコート

災害弔慰金

議員 震災関連死に係る件数は。

課長 平成二十四年十一月末現在で三十六件認定して

いる。  
議員 申請があり未決定のケースはあるのか。  
課長 現在申請はない。

施設予約システム構築委託料

議員 委託料の内容は。

課長 文化会館の施設予約システムを、新たに構築するもの。

議員 インターネットでの予約は。

課長 現在のシステムと同様であるが、加えてインターネットでの仮予約システムを取り入れる。



▲文化会館窓口の施設予約システム

愛島小学校校舎増築工事

議員 愛島小学校の児童数のピーク時期をどのように捉えているのか。

課長 平成二十八年四月の段階で七百二人、二十五クラスを見込んでいます。

議員 敷地をふやす考えは。

課長 校舎三階部分を増築することにより必要な教室を確保する。グラウンドも現在の面積を確保する。

名取駅西口自転車等駐車場増設計画委託料

議員 何台分の増設を考えているのか。

課長 百台程度の増設を見込んでいる。

議員 現在の敷地内で増設するのか。

課長 詳細は未定だが、現在の西口自転車等駐車場の北側に増設する考えである。



▲増設される名取駅西口自転車等駐車場

市民墓地公園事業相続関係調査等委託料

議員 予定地と宗派は。

課長 小塚原共有地を予定している。共同墓地が津波で流失するなどした被災者と、埋葬する場所のない遺族を対象とする市民墓地の整備であり、宗派にはこだわらない整備を考えている。

議員 予定地と宗派は。

議員協議会

12月21日 国民健康保険特別会計の財政状況について

去る十二月二十一日に、議員協議会が開催され、国民健康保険特別会計の財政状況について、市長等から説明を受けました。  
国民健康保険は、被保険者の高齢化及び医療技術の高度化による医療費の増大、また、国民健康保険特有の構造的な問題から課税額が伸び悩むなど、厳しい財政状況となっており、本市においても財源確保が喫緊の課題となっています。これら市の現状と課題、及び運営安定化に向けた取り組みについての詳細な説明の後、今後の展望などについて議員から多くの発言がなされ、活発な議論が展開されました。

11月12日 名取市乗合バス(なとりん号)運行計画について

去る十一月十二日に、議員協議会が開催され、名取市乗合バス(なとりん号)運行計画について、市長等から説明を受けました。  
市では、平成二十四年度末でなとりん号運行に係る契約が終了すること、また民間の公共交通機関が運行する閉上線及び農業大学校線が廃止されることなどから、なとりん号の運行ネットワークの再編に向けた調査、検討を進めてきました。  
これらなとりん号の現状と課題、及び運行ネットワーク再編方針についての詳細な説明の後、各地区の具体的な課題など議員から多くの発言がなされ、活発な議論が展開されました。

委員会審査

割増金について

委員 割増金発生事例は。

課長 駐車券の紛失や料金を不法に免れた場合に割増金を徴収することになる。

委員 割増金徴収に関する標識の具体的表示は。

係長 条例は表示の基準を列挙したもので、違反事例について表示予定はない。

条例

総務建設常任委員会

自動車駐車場条例の一部を改正する条例

### 一般市政報告

#### 三陸沖を震源とする地震に係る被害と対応について

去る平成24年12月7日に発生した、三陸沖を震源とする地震に係る被害と対応について、12月10日の本会議において市長より報告がありました。

##### ◆市の対応

地震発生後津波警報が発令されたことから、直ちに災害対策本部を設置し対応にあたった。

##### ●市民への広報

防災行政無線によるサイレンの吹鳴と避難の呼び掛け、及び消防車両等により閑上地区、下増田地区への避難広報、災害FMでの避難指示の情報発信を行った。

##### ●避難所の開設

下増田小学校等に開設し、約300人が避難した。

##### ●市内の被害状況

2人のけが人が発生した。中等症と軽症各1人。公共施設での被害はない。

##### ◆モーターサイレンの不具合

平成24年9月に設置したモーターサイレンに不具合が生じたことから、市の広報車による広報、及びサイレンが設置されている美田園ポンプ場へ職員を派遣し、手動にてサイレンを鳴らした。

メーカー確認により設置上の問題が確認された。同日午後9時40分ごろに機能回復している。

議員からは、機器の設置方法やその見直しについて厳しい質疑がなされました。市長からは、早急に検証を行い、今後設置方法を抜本的に見直したいとの認識が示されました。

- ◆市道飯塚成田線の着工・完成に関する陳情  
（下余田町内会 会長 渡辺憲二氏 外一人）
- ◆市道鹿島草倉田線の着工・完成に関する陳情  
（下余田町内会 会長 渡辺憲二氏 外一人）
- ◆市道飯野坂杉ヶ袋線拡幅等改良工事の早期着工と完成についての陳情  
（耕合町内会 会長 佐藤清一氏 外一人）

今期定例会の傍聴者数は、**延べ68人**でした。  
平成25年2月定例会は、**2月26日(火)**開会予定です。



## その他

### 総務建設常任委員会

#### 指定管理者の指定について

【名取駅コミュニティプラザ及び名取駅東西自由通路】

#### 施設の保守・管理について

**委員** 公の通路としての管理及び安全対策の考え方は。  
**室長** 安全面ではエスカレーターやエレベーター等の故障対応も管理委託を行い、安全確保を図ってきた。市の管理を条例化し、指

定管理の範囲として名取まちづくり会社で対応する。

### 民生教育常任委員会

#### 指定管理者の指定について

【那智が丘児童センター】

#### 指定管理者の職員体制について

**委員** 現在NPO法人子育て応援団ひよこによって管理・運営されているが、今後の職員体制は。  
**課長** 現在、館長は社会福祉課長補佐が兼務し、児童厚生員七人で運営している。平成二十五年度からは、法人で館長を配置する。

## 請願

### ◎採択

東日本大震災復興調査特別委員会に付託された次の請願は、十二月十八日の本会議で採択されました。

- ◆東日本大震災における名取市閑上地区の被害について第三者による検証委員会を設置し、原因究明を求めることについての請願  
（名取市震災犠牲者を悼む会 事務局長 遠藤道男氏 外二人）
- 総務建設常任委員会に付託された次の請願は、十二

## 陳情

月十八日の本会議で採択されました。

◆名取市宮住宅の早期建設を求める請願  
（松浦正一氏 外二人）

- ◆児童センター開館時間延長についての陳情  
（名取市高館保育所クローバーの会 会長 高橋由美氏）
- ◆市道浜街道線・門ノ目線の交差点への交通信号と横断歩道の新設に関する陳情  
（下余田町内会 会長 渡辺憲二氏）
- ◆市道七島浜田線の未着工部分の完成に関する陳情  
（下余田町内会 会長 渡辺憲二氏 外一人）
- ◆市道飯塚成田線の着工・完成に関する陳情  
（下余田町内会 会長 渡辺憲二氏 外一人）

## 議事を傍聴しませんか

本市議会では、定例会が年に四回（二月・六月・九月・十二月）開催されます。本会議・各委員会は一般に公開され、どなたでも傍聴できます。傍聴を希望される方は、市役所議会棟二階の議会事務局までおいでください。

また、傍聴者アンケートでは、多くの方々から貴重なご意見をいただき、重ねて御礼を申し上げます。皆様のご意見を、今後の議会運営に生かしてまいります。

◎審議した議案とその結果

※ ○は賛成

会議名	提出者	議案番号	件名	審議結果	議員名(議席番号順)																	
					荒川洋平	大友康信	小野泰弘	佐々木哲男	及川秀一	大沼宗彦	佐藤正博	長南良彦	山田司郎	菊地忍	相澤祐司	小野寺美穂	郷内良治	本郷一浩	山口實	渡邊武	今野栄希	星居敬子
市長 第7回定例会		議案第 82 号	専決処分の承認について(平成24年度名取市一般会計補正予算(第4号))	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		議案第 83 号	名取市暴力団排除条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		議案第 84 号	名取市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準に関する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		議案第 85 号	名取市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準に関する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		議案第 86 号	名取市市道の構造の技術的基準等を定める条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		議案第 87 号	名取市移動等円滑化のために必要な市道の構造に関する基準を定める条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		議案第 88 号	名取市移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		議案第 89 号	名取市職員定数条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		議案第 90 号	名取市児童厚生施設条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		議案第 91 号	名取市保育所条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		議案第 92 号	名取市営住宅設置条例等の一部を改正する等の条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		議案第 93 号	名取市都市公園条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		議案第 94 号	名取市自動車駐車場条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		議案第 95 号	名取市下水道条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		議案第 96 号	名取市営住宅管理条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		議案第 97 号	名取市水道給水条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		議案第 98 号	平成24年度名取市一般会計補正予算(第5号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		議案第 99 号	平成24年度名取市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		議案第 100 号	平成24年度名取市土地取得特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		議案第 101 号	平成24年度名取市水道事業会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第 102 号	平成24年度名取市下水道事業等会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第 103 号	指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第 104 号	指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第 105 号	平成24年度名取市一般会計補正予算(第6号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議員		議会案第 9 号	生活再建に至らない東日本大震災被災者に対する医療費一部負担免除を2013年4月以降も継続を求める意見書	修正可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		議会案第 10 号	県の乳幼児医療費助成制度の拡充を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※地方自治法第116条の規定により、議長は表決に加わっておりません。

### 民生教育

委員長	山田 司郎	副委員長	大沼 彦
委員	荒川 洋平	委員	小野 泰弘
〃	菊地 忍	〃	相澤 祐司
〃	郷内 良治	〃	本郷 一浩
〃	渡邊 武	〃	丹野 政喜

## 十二月定例会 常任委員会現地調査報告

### 総務建設

委員長	相澤 雅	副委員長	佐藤 博
委員	大友 康	委員	木口 正
〃	及川 秀	〃	南 哲
〃	小野 美	〃	山 良
〃	今野 希	〃	長 敬
〃	山田 龍	〃	山 居
			星

初めに重要文化財洞口家住宅の米蔵と座敷蔵、及び味噌蔵の保存修理事業について現地調査を行いました。

東日本大震災で被災した米蔵等を、平成二十五年年度未までの二年間で修理するもので、総事業費は一億四千九百五十一万円になります。

次に、議会懇談会で市民から危険性を指摘された、館腰小学校の通学路の調査を行いました。

現地での聞き取り調査では、遊歩道の西側が土砂災害危険区域に指定され、館腰小学校長やPTA役員等が協議の上で、遊歩道を通学路から外した経緯が説明されました。

学校に対して、通学路における安全指

請願、陳情及び議会懇談会での意見等に係る現地調査等を行いました。

震災により未完成となっている狹隘道路などの陳情関連箇所、及び議会懇談会でのご意見等に関連する現地の確認を行いました。担当課からは、今後の整備の見込みなどの説明があり、予算等の獲得を目指したさらなる努力を要請しました。

また、請願第三号「名取市営住宅の早期建設を求める請願」について、請願提出者、紹介議員及び担当課からの聞き取り調査の後、審査を行いました。

請願提出者からは、仮設住宅に暮らす被災者の生活環境、市営住宅の空き家政策により地域が抱える問題など請願の趣旨について、聞き取りを行いました。

審査では、「被災者が住む場所を選択できるようにするべき」など多くの意見があり、採決の結果、全会一致で採択すべきものとする結論に達しました。



▲洞口家住宅座敷蔵の保存修理の様子



▲議会懇談会で意見のあった箱塚一丁目地区の様子

導を徹底することや地元丁寧な説明をしていくよう要請しました。

その他、児童センターの開館時間延長を求める陳情の調査や、意見書案二案件について審査を行いました。

平成二十五年二月一日（年四回発行）

### 編集後記

平成二十四年十二月七日夕方に、三陸沖を震源地とする地震が起きました。

被災された多くの皆さんは、東日本大震災を思い出されたことでしょうか。

今回、平成二十四年九月に設置したモーターサイレンの不具合があり、一力所は手動でサイレンを鳴らしたとのこと。また、防災無線の放送が届かなかつた地域に広報車を出動させ

ました。

大切なのは、安易な自己判断に頼らず、ラジオなどの情報を手がかりに地域で声かけし、支え合うことです。日ごろからの防災意識の向上を目指していきたいと思いをしました。

委員長	星 居 敬子
副委員長	荒川 洋平
委員	小野 泰弘
	及川 秀一
	大沼 宗彦
	佐藤 正博
	山田 司郎
	相澤 祐司

## 東日本大震災復興調査特別委員会 関係団体等懇談会を開催

議会基本条例第十八条の規定に基づき、関係団体等懇談会を開催しました。

関係団体・北釜地区防災集団移転協議会（平成二十四年十月十五日）

復興整備計画、下増田地区防災集団移転計画等、各計画間に生じる不整合点と集団移転に当たっての市への要望について、意見を伺いました。

関係団体・閑上地区在宅被災者「どうなる我が家」勉強会（平成二十四年十月二十八日）

かさ上げ等の実施に当たって、現存する家屋の再建補償に関する要望、閑上地区の自宅を修繕して生活している被災者への支援等に関する要望について、意見を伺いました。